

【研究課題】

検査方法による HIV 抗体検査の結果の相違とその応用

【研究機関名及び研究責任者氏名】

研究機関名 名古屋市保健所中保健センター

名古屋市衛生研究所

責任研究者 名古屋市保健所中保健センター 木村 薫

【研究期間】

平成 30（2018）年 8 月 ― 平成 32（2020）年 3 月

【対象となる方】

平成 26（2014）年 9 月～平成 29（2017）年 8 月に名古屋市で定例的におこなわれた HIV 検査会でスクリーニング検査陽性となった方

【本研究の目的】

HIV は服薬でコントロールのできる疾患になりつつあるため、その感染を早期に発見することは重要です。このため名古屋市では各区保健センター等で、無料の HIV 検査を定期的に行っています。HIV 検査で用いられるスクリーニング検査法は、偽陰性（本当は HIV に感染しているのに陰性の検査結果が出ることを避けるため、また迅速に結果を出すことに主眼が置かれるため、本来は HIV 感染がないのに検査結果で陽性になってしまう偽陽性の症例が一定の割合で存在します。これらの偽陽性となった方たちは、確定検査の結果が判明する一週間後まで待たなくてはなりません。今回の研究は、スクリーニング検査で陽性となった症例に対して、即日で偽陽性であることを明らかにすることができないのか検討することを目的としています。

【研究の方法】

HIV 検査会で HIV の感染の有無の判定に用いた後の残余血清に対して、複数のスクリーニング検査法で再度検査を行います。再検査は名古屋市衛生研究所で行います。複数のスクリーニング検査を組み合わせることで、偽陽性を減らすことができないのか、名古屋市保健所中保健センターで検査結果を整理、解析します。

【個人情報の保護】

検体採取は匿名で行われており、生年月日、氏名、住所等個人が特定できるデータはありません。研究結果は関連の学会および論文にて発表しますが、いかなる場合にも個人が特定されることはありません。なお、本研究は名古屋市衛生研究所等疫学倫理審査委員会の承認を得ております。

【問い合わせ先】

名古屋市保健所中保健センター 保健予防課 片山 幸

〒460-8447 名古屋市中区栄 4 丁目 1 番 8 号

電話 052-265-2262 FAX 052-265-2259

e-mail: a2514521-10@naka.city.nagoya.lg.jp